

しものせき トピックス

Shimonoseki Topics

オートマタ《リュートをひくピエロ》

ご当地くじら グルメフェア

下関くじらフェスティバルの 일환として、「ご当地くじらグルメフェア」が11月24日にあります。フェアには捕鯨にゆかりのある日本各地・韓国から鯨肉を使ったこだわりの料理が集合し、さまざまな鯨料理に皆、舌鼓をうっていました。

前日にはくじらを通じた文化交流のさらなる促進などを目的に、韓国蔚山広域市南区とのくじら交流協定締結式も行われました。



ふく笛(複製)

市立美術館 開館30周年記念展

市立美術館開館30周年を記念して、特別展「芸術は魂のたべもの 河村幸次郎と美の世界」を開催しました。

河村幸次郎は下関の文化活動を牽引したひとりであり、美術品のコレクターとしても知られていました。現在そのコレクションの多くは美術館の収蔵品の核となっています。今回はその数々のコレクションや河村氏が創案した郷土玩具「ふく笛」など、河村幸次郎の世界を紹介しました。



蔚山広域市南区のブース

奥山工場の焼却灰 を鉄道輸送に変更

市では、「奥山工場（井田）でごみを焼却しています。同工場から出る焼却灰を吉母管理場で埋め立て処分していました。平成25年2月より焼却灰（主灰）の一部をセメント原料にしています。

輸送時の二酸化炭素の排出量削減のため、処理する周南市までトラックから鉄道に変更しました。

12月2日、出発セレモニーがあり、下関貨物駅から焼却灰をコンテナに積んだ列車が出発しました。



下関貨物駅（東大和町二丁目）で焼却灰を積んだコンテナ（写真中央）を見送る関係者

Fish-1グランプリ in下関

11月24日、「魚の国のしあわせFish-1グランプリ」が海峡メッセ下関で開催されました。このイベントには、水産物を使った料理や商品が新しい名物となり、地域の活性化につながってほしいという願いが込められています。

会場には、全国から応募があった料理の中からファイナリストに選ばれた6作品が登場。この日の投票と1月東京都内での投票で、グランプリ作品が決まります。



秋を代表する「食」の四大イベント



下関さかな祭



サザエのつかみ取り(下関さかな祭)

11月23日、下関駅周辺は、イベント一色に染まりました。下関漁港(大和町)では、新鮮な魚や水産加工品などがお得に買える「下関さかな祭」が

開催されました。海峡ゆめ広場では「JA下関農業まつり」が開かれ、新鮮な野菜の販売や餅つき、新米すくい取りなどで会場は盛り上がりました。グリーンモール商店街では、韓国食と文化を楽しめる「リトル釜山フェスタ」が、豊前田商店街では、多くの屋台が並ぶ「豊前田



豊前田満がくフェスタ



JA下関農業まつり



リトル釜山フェスタ①



リトル釜山フェスタ②

満がくフェスタ」が開催されました。どの会場も訪れた多くのお客さんでにぎわっていました。

宇野さんが出身地である周南市の化学工業メーカーに就職した年、職場の上司に勧められて始めたのが弓道でした。その後、結婚を機に下関市に移住。家事や育児に追われ弓道から遠ざかりましたが、また取り組みたいという思いは日ごとに強くなりました。市弓道場が完

スポーツを続けることで人生の幅が広がります

平成27年のねりんピック山口大会の弓道会場が下関市なので、「全国からの参加者を笑顔で迎えたい。そのためにはしっかりと体調管理をしていきたい」と笑顔で語ってくれました。

「弓道の魅力は人と争わなくていいところ。相手は動かないので、当たらない時は自分を省みることが大切」なのだそう。弓道は、いろんな職業や年齢の方との交流があるから人生が幅広くなるし、健康的な生活を過ごせるようになる」と宇野さん。

平成25年度 生涯スポーツ功労者表彰を受賞
教士七段C級コーチ 宇野の雪子さん

しゅん・かん・びと

旬 関

今、話題のひとを紹介します

